

大阪城

2022
9/22 (木)
14294 号

全港
西成
合会

224
6647-
4947

9/19 (月) 台風14号は、大阪からは北側まで逃しても
北東に進んだので、大阪はあまり大きな被害は
なかつたように見える。天気予報や情報
運く伝わるので、JRやコンビニなど、早くから
止ったり閉ったりして、自然への対応が変換してき
ている。明日9/23 (金) は、お彼岸だが、暑さ寒さを
彼岸まで、というように涼しく、クーラーもいらなく
なってきた。身体も少しは楽になり、頭も
少しは働きやすくなってきたらうか。

10/3 (月) からは臨時国会で、困窮世帯への5万円
支給も決まってくる。1600万世帯が対象で、全体の
約2割で、約8500億円の予算になる。政府で
決めれるコロナ・物価への対策も、備蓄費も兆4846
億円のうちから出すようになった。ガソリン石油元売りの
企業には補助で、兆2959億円、病床確保など
で地方自治体に8265億円の交付金を出すという。
今後でも日本経済は、ブラックホールにまきよせ
られたように、没迷を続けようだが、対岸のアメリカ
かも、内戦・新南比戦争か？というおそれがあるようにトラ
ンプ起訴も、民主・ハイテンは政治戦争の腹を
固めたかにみえる。日本もまきよめようか。

貧しくとも、生きる街

鳥取の写真家・庄司さん 写真集出版

釜ヶ崎見つめた半世紀

鳥取県米子市の写真家、庄司丈 労働者らの生活感にじむ写真集「明日また 釜ヶ崎・沖繩」太郎さん(75)が今月末、日本最大 掲載し、半世紀以上にわたって撮 級の日雇い労働者の街、大阪市西 成区のおいりん地区(通称・釜ヶ 崎)で写した作品を収録した写真 集「貧しかったが、燃えていた 釜ヶ崎で生きる人々」昭和ブルー ス編(解放出版社)を出版する。

「野坂昭如、新潟三区の闘い」な どを発表し、釜ヶ崎や沖繩などで 子どもたちの生き生きした姿を捉 えた「貧しかったが、燃えていた 昭和の子どもたち」を2019 年6月に出版した。

学校に通い、撮影技術を習得。写 今回収録した作品は、大阪万博



出版する写真集を手にする庄司さん＝鳥取県米子市内

が開催される直前の1968年か ら平成が終わった2018年まで に撮影した約200点。釜ヶ崎の 萩之茶屋南公園(通称・三角公園) に設置された街頭テレビで大相撲 中継に見入ったり、仕事を終えて 西成労働福祉センター地下でシャ ワーを浴びたりする労働者の写真 などを掲載した。

写真集の帯には、庄司さんと親 交がある元プロボクサーで俳優の 赤井英和さん＝西成区出身＝が 「あの日のワシが笑いかけてきた !」などとするコメントを寄せて いる。

◇写真集は縦20・5センチ、横21センチ、 216ページ。予定価格は税別5千円。



写真集に掲載される「釜ヶ崎三角公園 粹なアンコちゃん」(庄司さん撮影)

大阪日日新聞 8/14 秋は芸術の季節のようです 50 数年の変化貴重ですね